

局所的な浸水被害軽減対策について

～中上流部治水安全度向上対策～

西宮土木事務所 河川砂防課

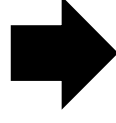
1 中上流部における治水対策の背景

(1) 課題

- ① 河川改修は、原則、下流から進めることとしており、中上流部において河川改修が進まない。
- ② 中上流域においても、宅地の浸水や道路の冠水などの浸水被害が発生している。

(2) 対策方針

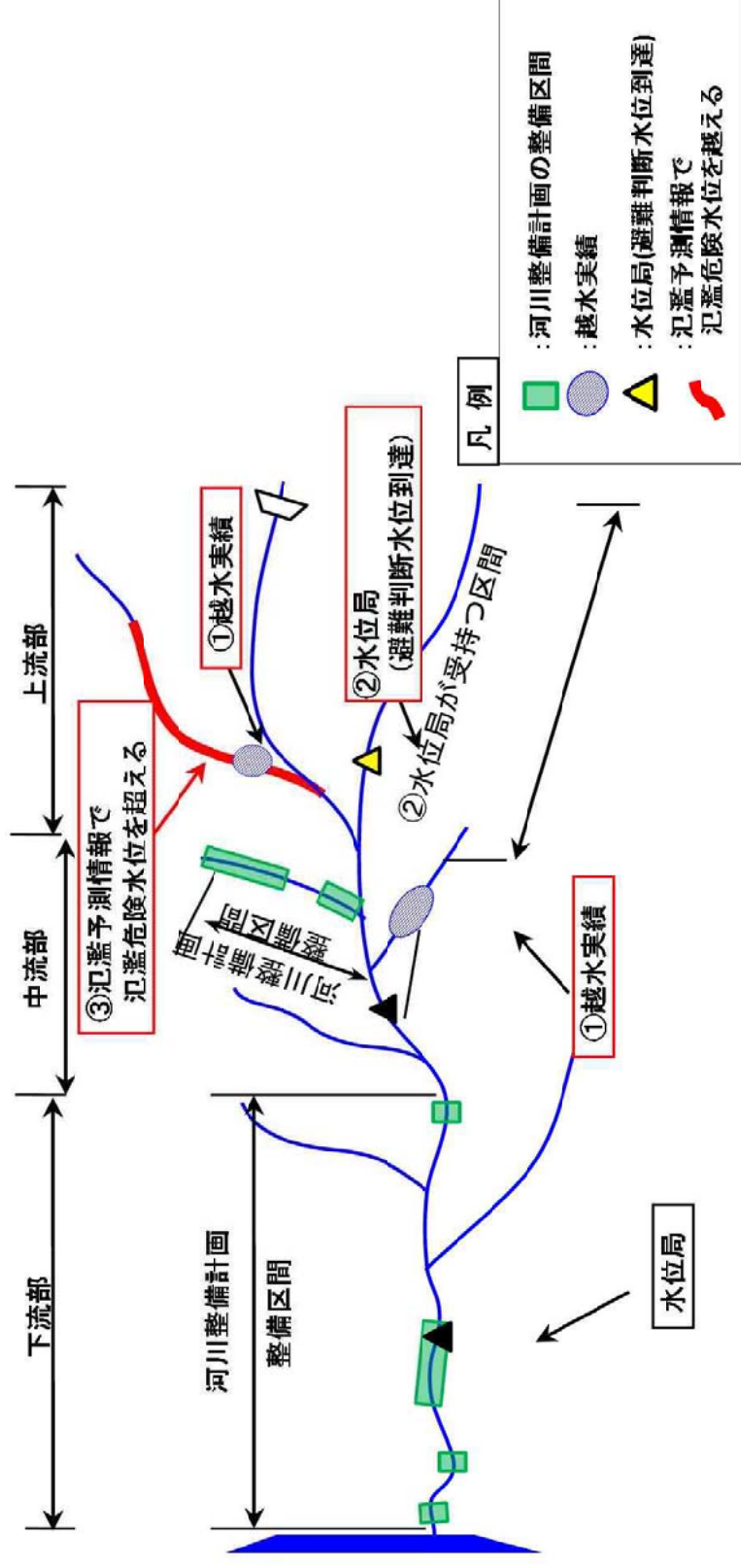
河川の中上流部の治水安全度の低い箇所において、過去の浸水被害等を勘案し、また、上下流の治水バランスにも配慮しつつ、局所的な改修を実施する。



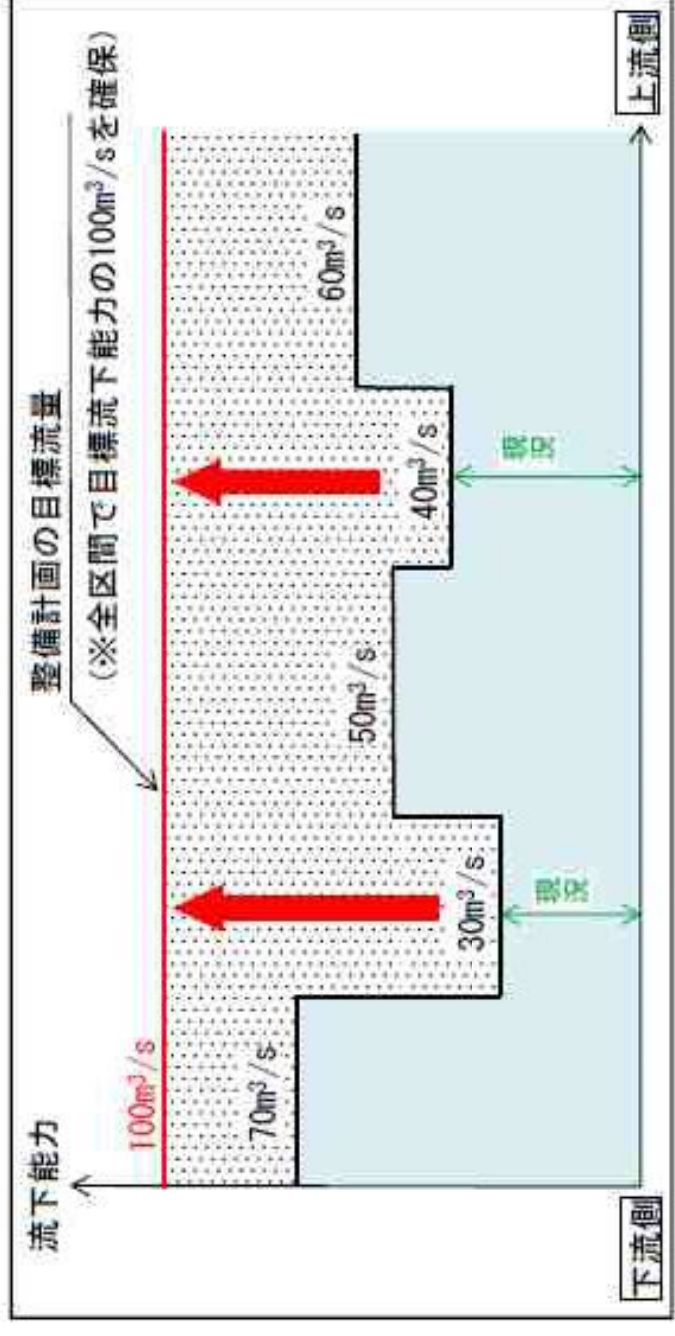
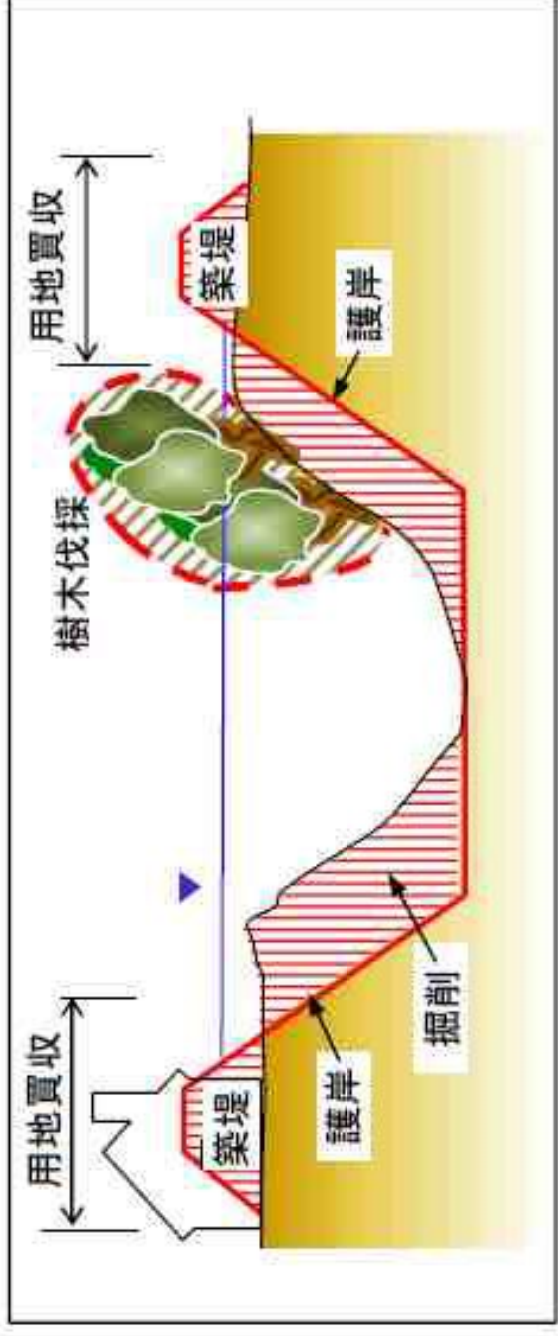
中上流部治水安全度向上対策事業

(3) 対策箇所

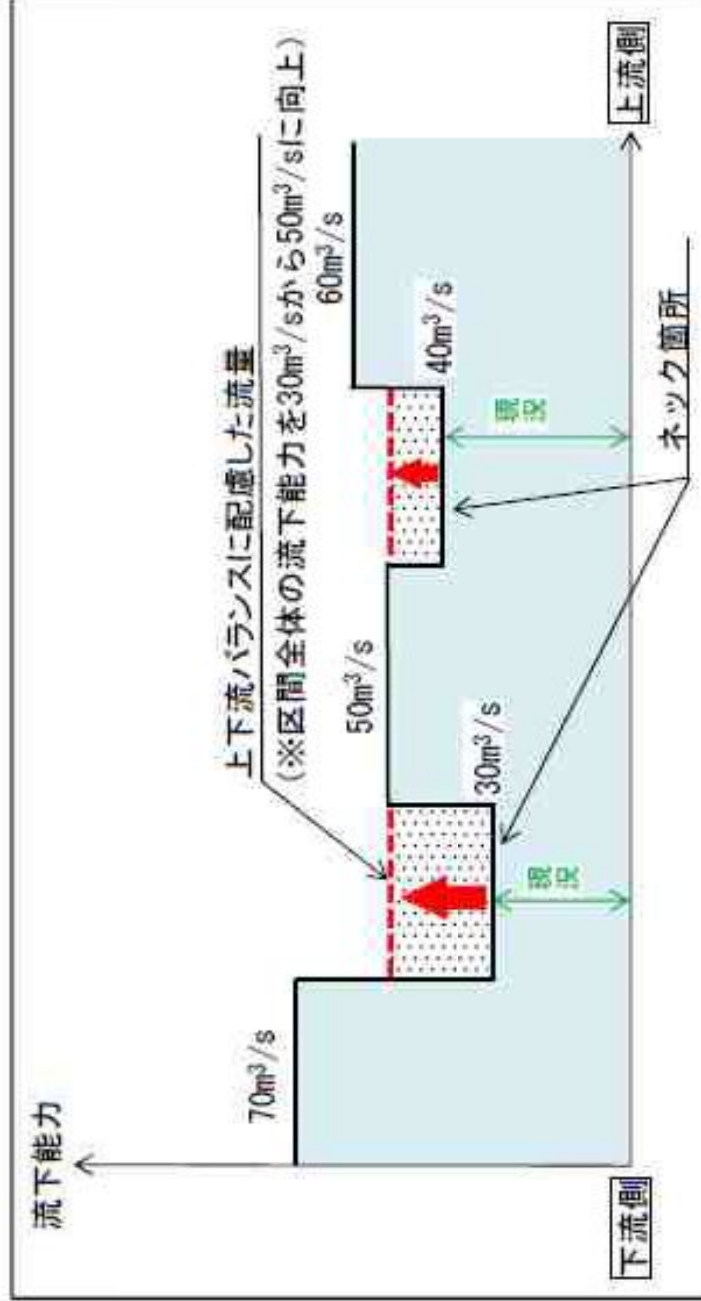
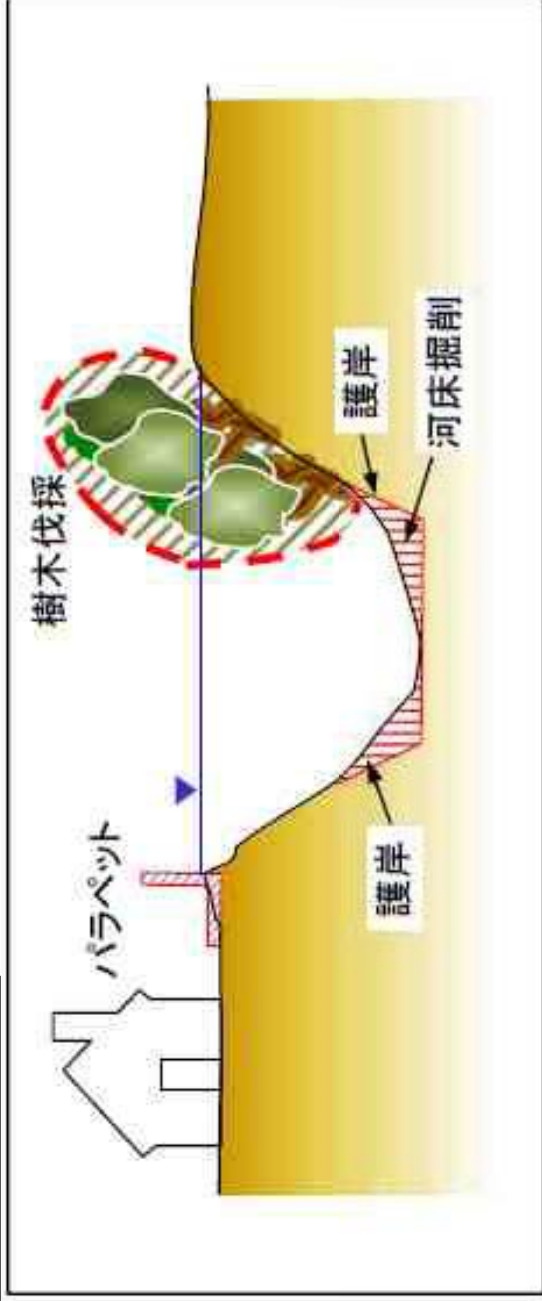
- ① 越水実績がある箇所(例：家屋、病院や道路等公共施設など)
- ② 水位局において、避難判断水位を越える回数が多い箇所
- ③ 氾濫予測情報で氾濫危険水位を越える回数が多い箇所



一般的な河川改修のイメージ

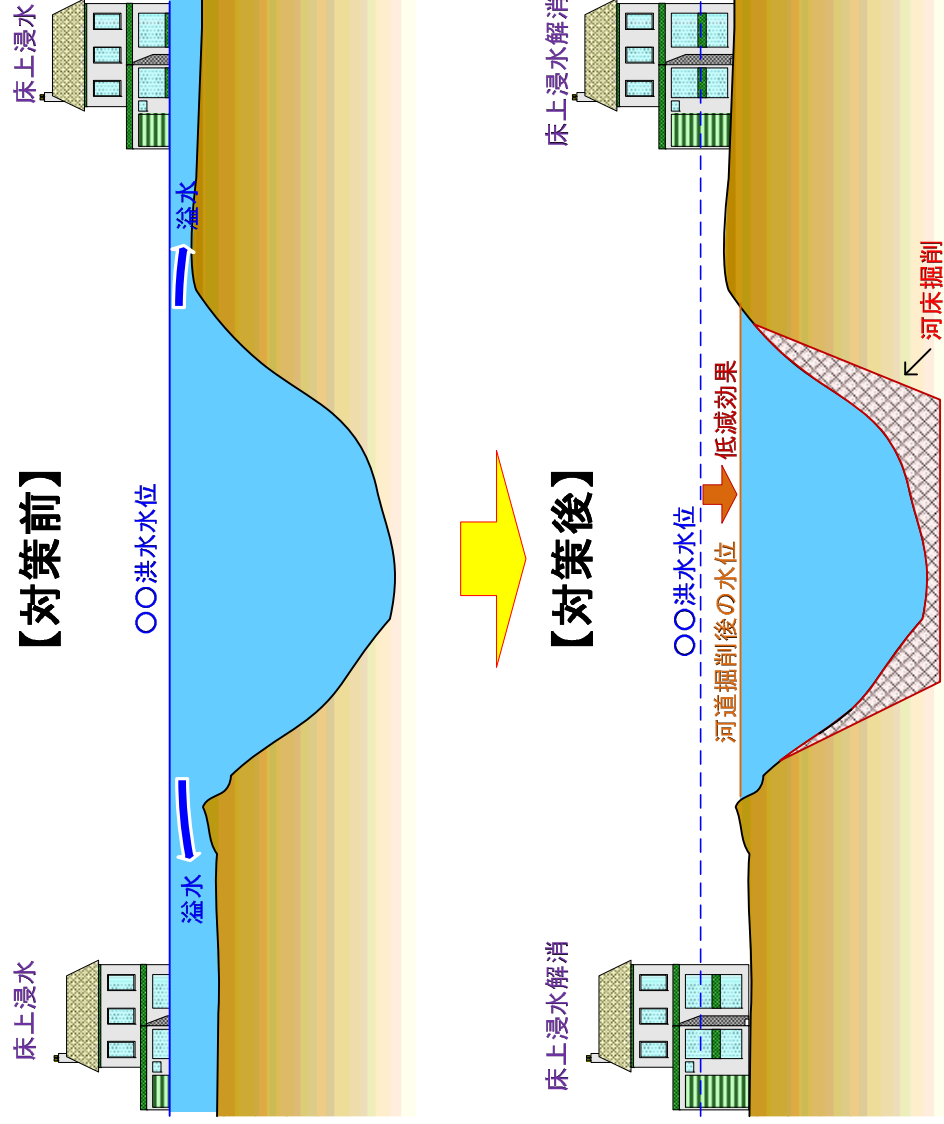


中上流対策のイメージ



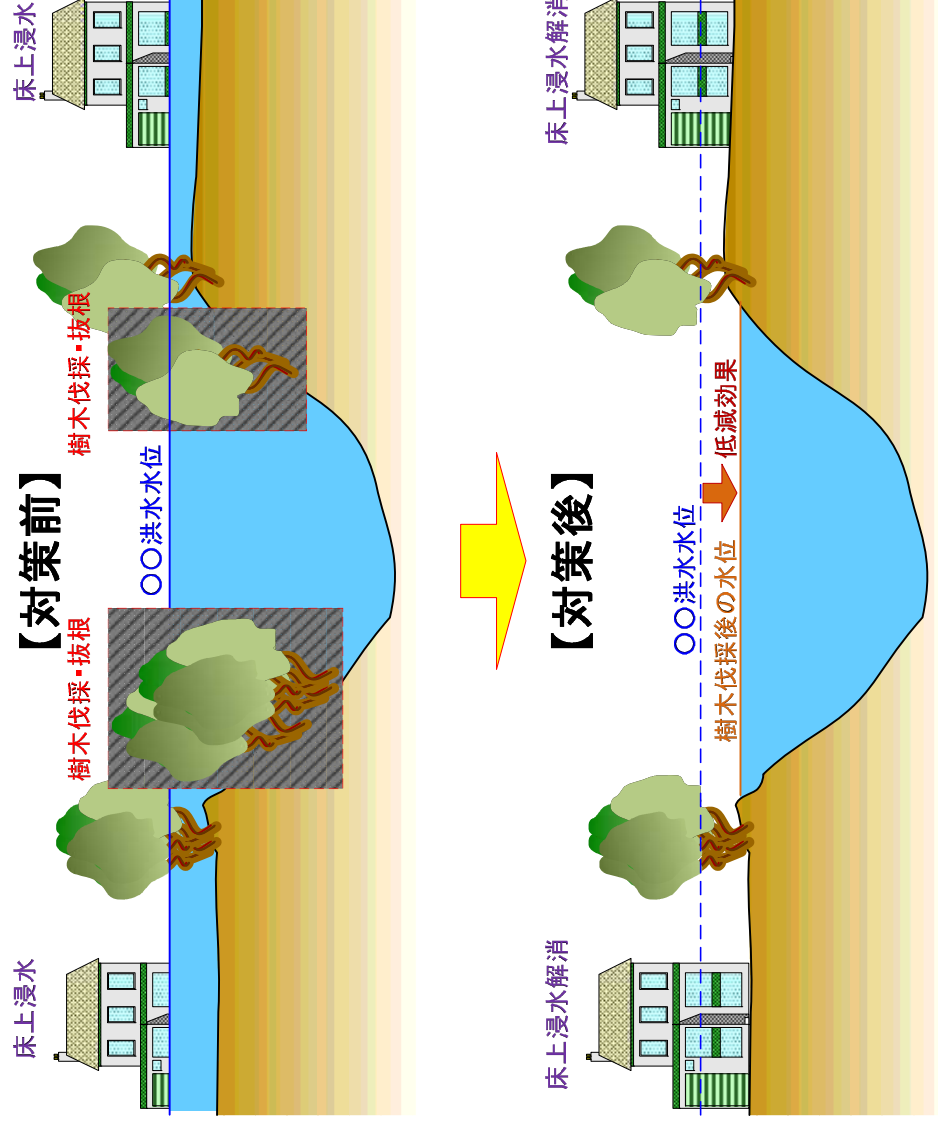
中上流対策の整備例①

①河道内の掘削による流下能力向上



中上流対策の整備例②

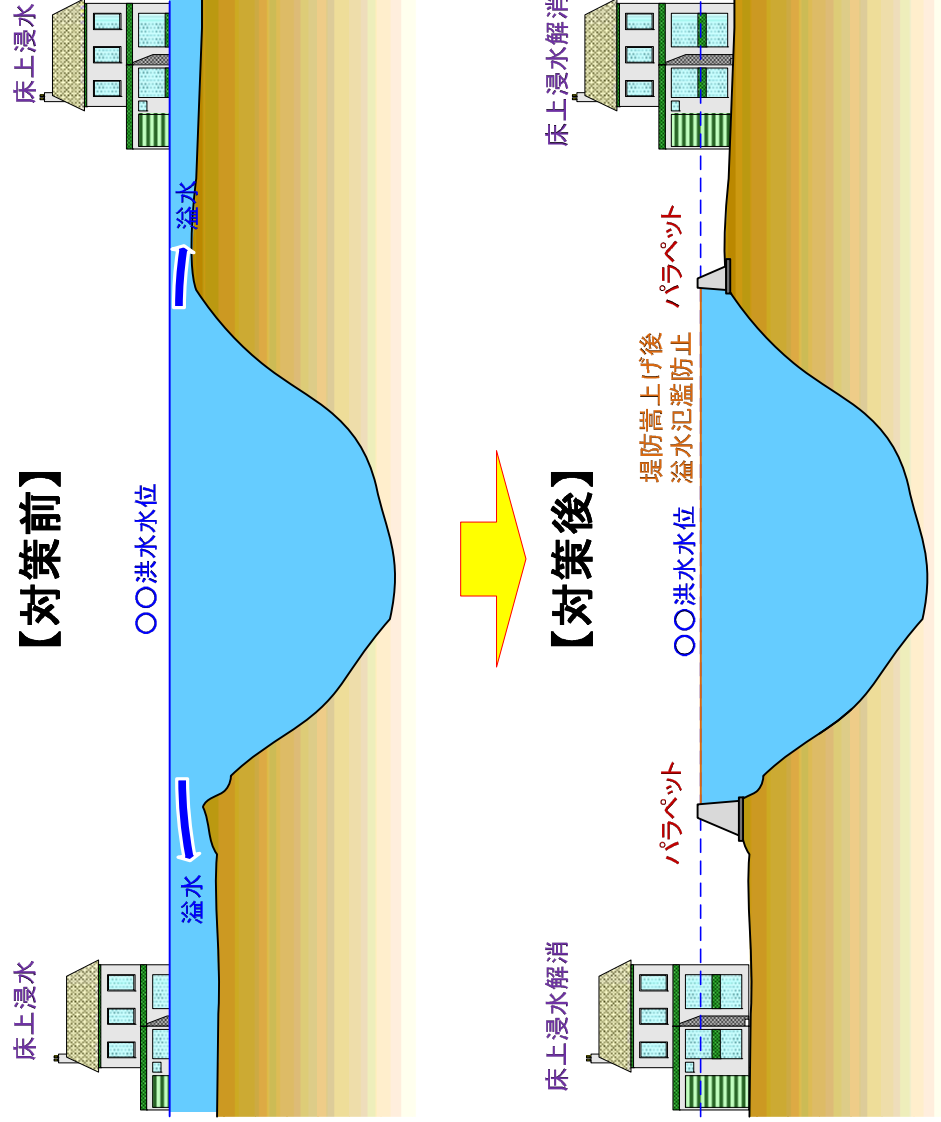
②河道内の樹木伐採による流下能力向上



樹木伐採・抜根した個所については今後維持管理をしていく必要がある

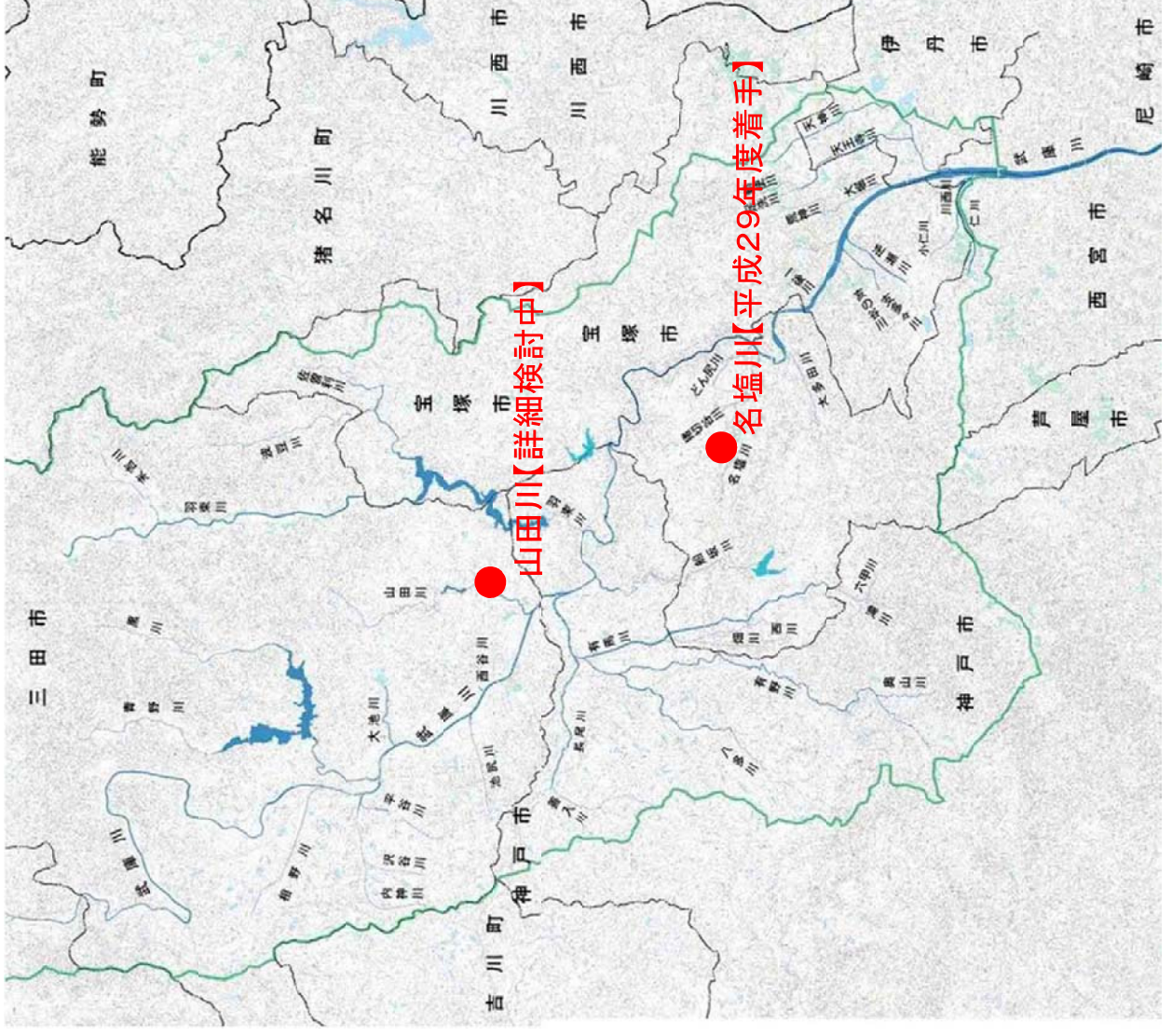
中上流対策の整備例③

③堤防の嵩上げによる溢水氾濫の防止



2 武庫川中上流部における治水対策

(1)位置図



(2) 事業概要

